



TITLE:

行事

AUTHOR(S):

CITATION:

行事. 京都大學結核研究所年報 1951, 2: 205-206

ISSUE DATE:

1951-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/50915>

RIGHT:

- 〔第5部〕 渡辺晃雄・山本 壽・伊藤 薫・熊代朗子：志願医員継続許可 (昭.25. 4)
 陶 隼士・片桐 学：志願医員許可 (昭.25. 8)
 志願医員 渡辺晃雄・志願医員田中久勝：市立京都病院結核科医員へ
 国立島根療養所医員 日置辰一郎：市立京都病院結核科主任へ
- 〔第6部〕 出目 弘：任助手 (昭.25.12)
 宇野 弘：志願医員許可 (昭.25.10)
 第3部助手 小松知爾：第6部助手へ (昭.26. 1)
- 〔第7部〕 岡田 博：志願研究員許可 (昭.25. 3)
 大平 実：同 上 (昭.25. 4)
 兒玉 博：同 上 (昭.25. 6)
 森山充一：同 上 (昭.25. 6)
 小崎克巳：同 上 (昭.26. 1)
 助手 片山規夫：依願免本官，市立京都病院傳染病科医員へ
- 事務官（事務主任）植野壽夫：京都大学理学部事務長へ (昭.26. 1)
 京都大学本部会計課経理掛長 佐々木健次：結核研究所事務官（事務主任）へ (昭.26. 1)
 乾 進・大阪泰夫：志願技術員許可 (昭.26. 6)
 学術会議総合研究結核委員会委員委嘱：岩井孝義（発病阻止科会委員，継続）・植田三郎（細菌免疫科
 会委員，継続）・内藤益一（発病阻止科会委員，新）・佐川一郎（予防接種科会委員，新）・
 長石忠三（外科的療法科会幹事兼委員，継続）

（以上，昭.26.3.20 現在，年報第1号掲載洩れの分をも含む）

學 位 授 與

- 西岡 諄（第5部）主論文：乾酪性物質の軟化融解現象に関する酵素学的研究 (昭.25. 3)
 香川輝正（第4部）主論文：外科的肺虚脱療法の前後に於ける肺臓機能 (昭.26.3教授会通過)

出 版

- 結核研究所同窓会編 結核講座 （第1集及び第2集） 南江堂発行 (第1集 昭.24.11)
 (第2集 昭.25. 1)

結 核 研 究 所 行 事

◇結核研究所綜合談話会

昭和25年6月以降，從來の研究所集談会を解消し，毎月1回研究討議，全員の意思疎通及び親睦等を目的とした結核研究所綜合談話会を開催。

（第1回）昭.25.6.

家森武夫：ストレプトマイシンを投與した粟粒結核症，結核性脳膜炎の剖検例

植田三郎：結核菌の所謂菌体表物質

（第2回）昭.25.7.

大岩弘治：結核菌のグラム染色性

辻 周介：虚脱療法と氣管支

（第3回）昭.25.9.

兒玉 得：骨關節結核症に於ける結核菌の生態

内藤益一：結核再感染問題序説

(第4回) 昭.25.10.

岩井孝義：臨床家の望む結核免疫及びその維持法

白石正雄：作り方，取扱い方からみたツベルクリン

(第5回) 昭.25.11.

上坂一郎：化学療法剤（抗生物質）の結核菌に対する Primary screening test に関する私見

長石忠三：結核性肺空洞に対する空洞切開術

(第6回) 昭.25.12.

小松知爾：結核菌の離脱色性

大井 豊：結核性脳膜炎のストレプトマイシン治療

(第7回) 昭.26.1.

寺松 孝：結核化学療法に関する二，三の私見

田部井 和（兵庫医大教授）：白色球の核移動と結核浸襲（特別講演）

(第8回) 昭.26.2.

安平公夫：脈管透過性

岩井孝義：日本結核病学会各分野に於ける最近の動向

(第9回) 昭.26.3.

長沢直行：不完全氣胸例に対する肺切除術の経験，特に切除肺の病理解剖学的所見

西岡 諄：自律神経毒の末梢並に胸管淋巴に及ぼす影響

◇研究所各部別研究討議會及び文献抄讀會

以上の綜合談話会の外，毎週1回乃至毎月1回の割合で，各部別の研究討議會や文献抄読会をも開催。

◇結核研究會講演会

本研究所の外廓団体としての結核研究会主催の下に第22回講演会を開催（昭.25.9）

昭和26年3月24日印刷

昭和26年3月31日発行

京都市左京区聖護院川原町53番地

発行所 京都大学結核研究所

発行兼編輯人 佐々木健次

京都市左京区聖護院川原町53番地

京都大学結核研究所事務室内

印刷人 村上竹松

京都市中京区烏丸通六角上ル

印刷所 株式会社洛陽社

京都市中京区烏丸通六角上ル